

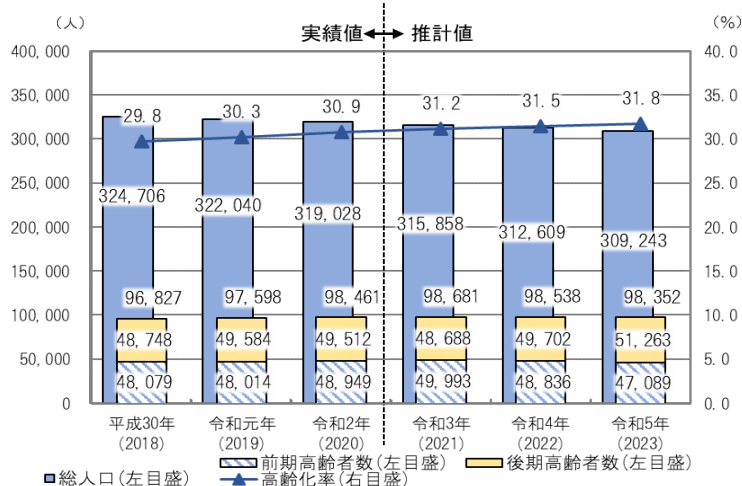
第8期(令和3年度～5年度)介護保険料(案)について

令和3年2月3日
令和2年度第5回
介護保険運営協議会資料

本市の現状

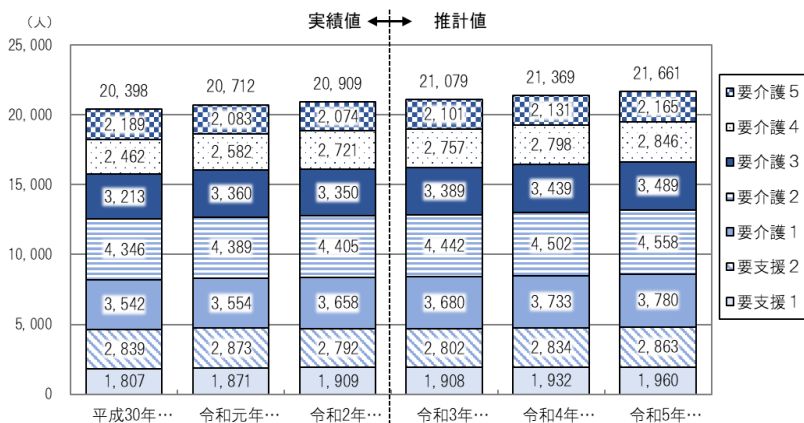
○高齢化率の上昇

総人口が減少局面にある中、高齢者数はほぼ横ばいとなり、令和5年度には高齢化率が31.8%になると推計(R2比+0.9%)
⇒ **高齢化率が上昇**



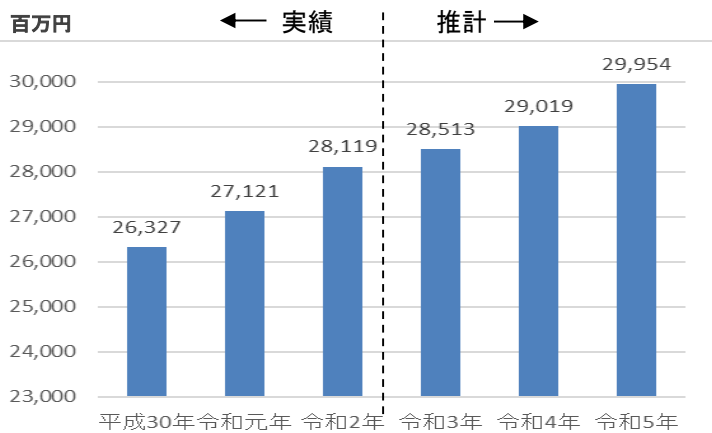
○要介護・要支援認定者数の増加

後期高齢者数の増加に伴い要介護・要支援認定者数も増加し、令和5年度には21,661人になると推計(R2比+3.6%)
⇒ **要介護・要支援認定者数が増加**



○介護保険給付費の増

要介護・要支援認定者数の増に伴い、介護給付費も増加し、令和5年度には約300億円になると推計(R2比+6.5%)
⇒ **介護保険給付費が増加**



施設整備(案)

○施設整備に関する基本的な考え方

要介護者の増に伴うサービス利用の需要や、認知症高齢者のほか、生活困窮者や社会的に孤立する高齢者等、多様な生活課題を抱える高齢者の増加にも対応するため、また、現在、国を挙げて取り組んでいる「介護離職ゼロ」や地域医療構想の推進に伴う介護施設等の追加的需要等も踏まえつつも、介護人材の確保が困難である状況等を勘案しながら、在宅サービスと施設サービスとのバランスがとれた整備を図る。

なお、施設整備にあたっては、地域包括ケアシステムの構築にあたり高齢者一人ひとりができる限り住み慣れた地域での生活を継続できるよう日常生活圏域単位での地域ニーズを踏まえた整備を行う。

○施設整備目標

(単位:床数)

施設種別	第7期計画	第8期計画					R5末見込み(目標値)	第8期に必要な職員数
	R2末見込み	R3	R4	R5	合計			
特別養護老人ホーム	1,625	20	58	58	136	1,761	56	
大規模	1,315	20			20	1,335		
地域密着型	310		58	58	116	426	56	
介護老人保健施設	1,189					1,189		
介護療養型医療施設	30					30		
介護医療院	138		39	46	85	223		
非転換	—					0		
介護(医療)療養型からの転換	—		39	46	85	85		
グループホーム(認知症対応型共同生活介護)	660		36	36	72	732	44	
特定施設入居者生活介護	1,087		120		120	1,207	45	
介護専用型	25					25		
混合型	1,035		120		120	1,155	45	
地域密着型	27					27		
合計	4,729	20	253	140	413	5,142	145	

○地域密着型サービスの日常生活圏域別基盤整備目標

日常生活圏域(主な地区)		地域密着型特別養護老人ホーム	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
第1圏域	平市街地	○	
第2圏域	平北部	○	
第3圏域	平東部		○
第4圏域	平南部		○
第5圏域	小名浜市街地・東部	○	○
第6圏域	小名浜西部	○	○
第7圏域	小名浜北部		○
第8圏域	勿来中部・南部	○	○
第9圏域	勿来北部・田人		○
第10圏域	常磐・遠野	○	○
第11圏域	内郷	○	
第12圏域	好間・三和	○	
第13圏域	四倉・久之浜大久		○
第14圏域	小川・川前	○	

介護保険料の算定

○第8期介護保険料基準月額

第8期介護保険料の増減要因等を勘案し、国の提供した「見える化」システムの推計機能により算出した第1号被保険者保険料基準月額は、次のとおり。

第8期介護保険料基準額(月額)	6,200円 (前期比132円増、上昇率2.2%)
-----------------	------------------------------

○介護保険料基準月額の推移

第1期から第8期までの保険料基準月額は次のとおり。

介護保険事業期間		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
		H12～H14	H15～H17	H18～H20	H21～H23	H24～H26	H27～H29	H30～R2	R3～R5
基準月額保険料		2,514円	2,761円	4,276円	4,276円	4,672円	5,789円	6,068円	6,200円
(年 額)		(30,200円)	(33,100円)	(51,300円)	(51,300円)	(56,100円)	(69,500円)	(72,800円)	(74,400円)
第1号被保険者 保険料の負担割合		17%	18%	19%	20%	21%	22%	23%	23%
保険料段階		5段階	5段階	6段階	9段階	9段階	11段階	11段階	11段階
料 率		0.5～1.5	0.5～1.5	0.5～1.5	0.5～1.75	0.5～1.75	0.5～2.0	0.5～2.0	0.5～2.0
前期と の比較	月額	－	+247円	+1,515円	±0円	+396円	+1,117円	+279円	+132円
	上昇率	－	9.8%	54.9%	0.0%	9.3%	23.9%	4.8%	2.2%

※令和2年度以降、第1段階の保険料率を50%から30%へ、第2段階の保険料率を75%から50%へ、第3段階の保険料率を75%から70%へ、それぞれ公費負担により軽減している。

○第8期介護保険料の増減要因

増額の要因	影響額	減額の要因	影響額
①認定者数の増や施設整備を勘案した介護給付費の増(約811億円⇒約875億円)	488円	①第1号被保険者の増(29.1万人⇒29.6万人)	▲128円
②国の調整交付金交付率の減(4.92%→4.52%)	95円	②保健者機能強化推進交付金等の計上(約3.6億円)	▲103円
③介護報酬改定(改定率0.67%)	37円	③介護給付費準備基金の取崩し(約8.8億円)	▲257円
小計	620円	小計	▲488円
⇒ 介護保険料 132円の増			